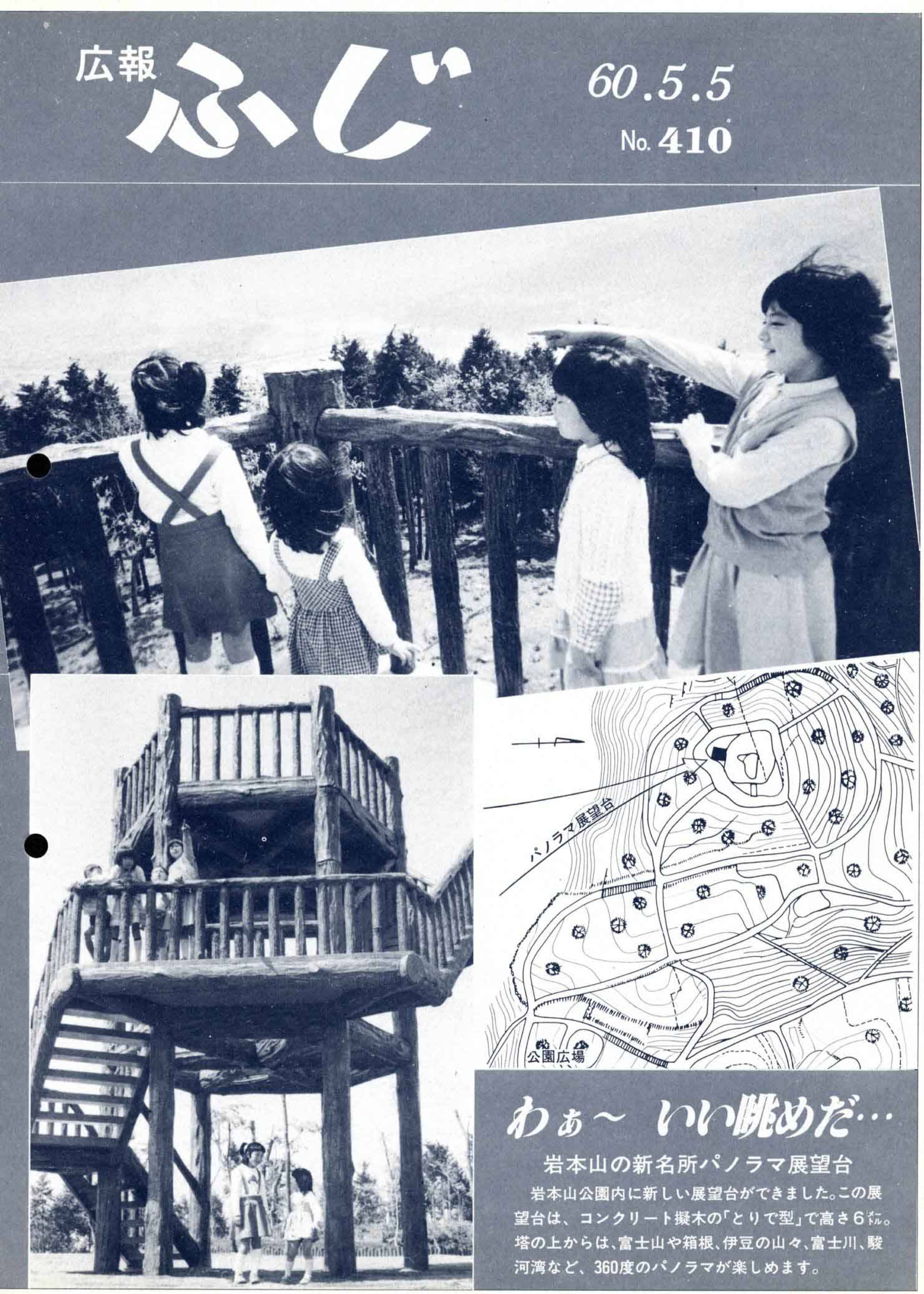
広報ふじ
60.5.5
No. 410



わぁ～ いい眺めだ…

岩本山の新名所パノラマ展望台

岩本山公園内に新しい展望台ができました。この展望台は、コンクリート擬木の「とりで型」で高さ6メートル。塔の上からは、富士山や箱根、伊豆の山々、富士川、駿河湾など、360度のパノラマが楽しめます。

本市の懸案事業であり、都市施設として欠くことのできない斎場の建設が、本年度いよいよ着工となります。

この施設は、「公園の中の斎場」をテーマに豊かな緑をできる限り多く配置し、地域の環境と調和した景観を持たせ、今までの斎場のイメージを一新するものです。

富士に抱かれ安らか

富士斎場がいよいよ

△富士斎場の完成予想図

「公園の中

市民憲章条文　1、富士山のように　広く　思いやりの心をもち　たがいに助け合います

な眠りを

着工

61年9月オープンに向けて

現在、久沢地先にある火葬場(斎場)は、設置以来26年余を経過し、老朽化が著しく、加えて敷地が狭いという条件のもとにあります。

そのため、早期に近代的な施設内容を備えた斎場の建設が急がれていました。

新しい斎場は、景観面においても従来のイメージを一新するとともに、交通、公害対策などにもいろいろと配慮がなされ、61年9月オープンに向けて着工していきます。

こんな対策を講じます

☆**交通輸送対策**――斎場への経路は西富士バイパス側道を利用する交通体系とします。霊柩自動車の運行経路を指定し、地域の道路交通に支障のないように配慮します。

☆**公害発生防止対策**――炉はいずれも1基独立型で、それぞれ再燃炉を設置して、無煙無臭化をはかります。粉じん対策は、スクリーン集じん機を設置して、公害防止対策に万全を期します。

☆**景観保全対策**――「公園の中の斎場」をテーマに、緑を豊富に配し、地域の環境と調和をはかり、富士山麓の自然の中の都市施設として、景観の保全に努めます。☆**防災対策**――敷地周辺は緑地帯とします。また、造成地内や周辺地の雨水対策として、調整池を築造するなど防災にも万全を期します。

斎場の計画概要

◇所在地　富士市大渕字市十窪2,588番地の1

◇敷地面積　20,883平方メートル

◇施設の規模

・火葬棟　948.55平方メートル（告別ホール、炉前ホール、炉室、炉制御室、収骨室、霊安室、機械室、休憩室、台車置場）

・管理棟　715.11平方メートル（事務室、会議室、応接室、ロッカー、便所、退出ロビー、倉庫）

・待合棟　1,072.85平方メートル（待合ホール、待合室、機械室、売店、倉庫、ゴミ集積場、控室）

・付属棟　147.84平方メートル（車庫、ポンプ室、残灰庫）

◇便益施設

・駐車場　2,825平方メートル(普通車102台、大型車6台)

・道　路　3,814平方メートル

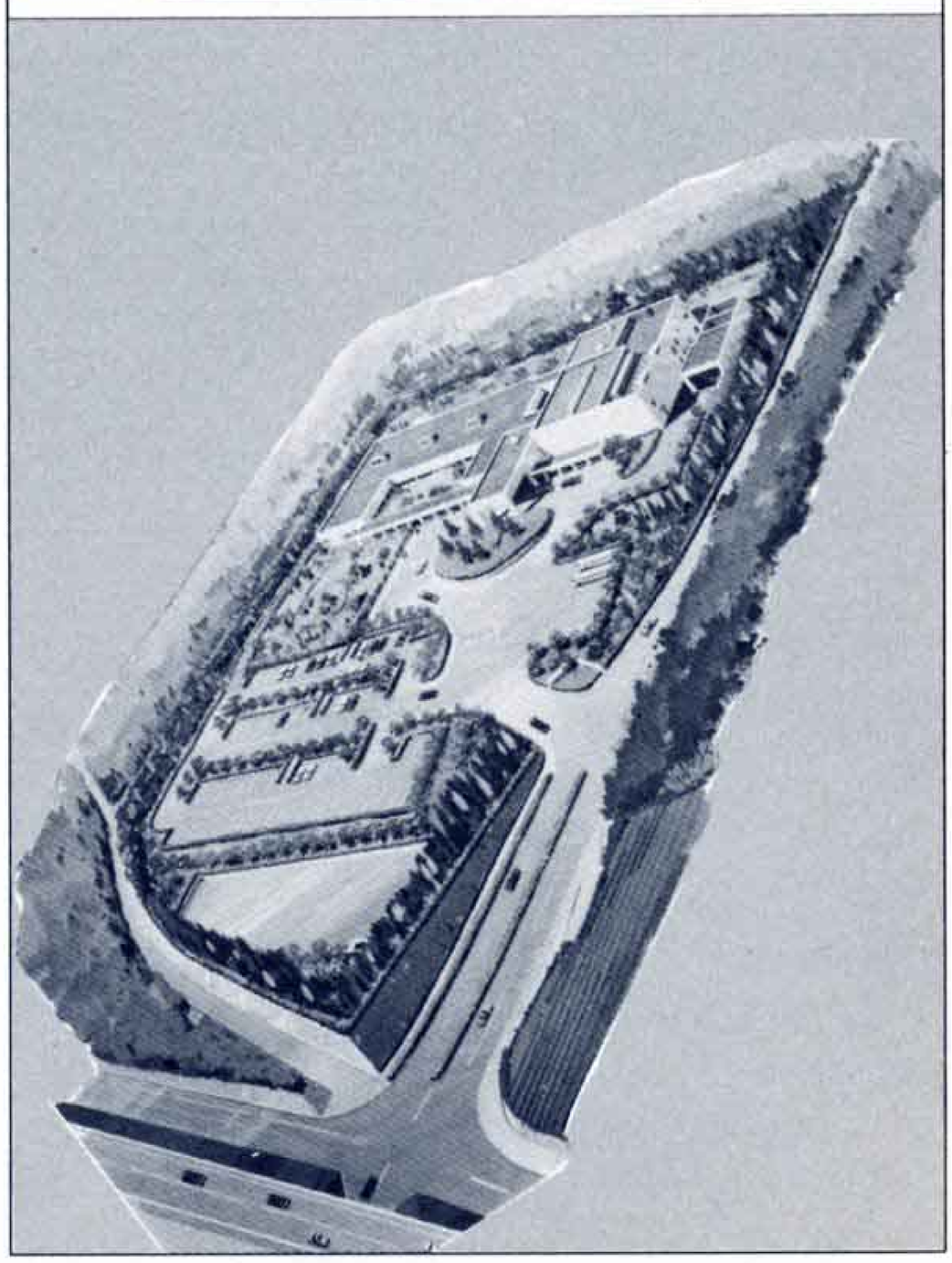
・その他　154平方メートル(受水槽、屋外機置場、サービスヤード)

◇緑　地　10,249.60平方メートル（緑化率約49パーセント）

◇調整池　902.10平方メートル（2,400トン）

◇その他の施設　53.95平方メートル(浄化槽、オイルタンク)

斎場の全景



の斎場」をテーマに

1、富士山のように　美しく　自然を愛し　きれいな環境をつくります

県東部の中核都市にふさわしく

依田原新田土地区画整理事業が完了

「土地区画整理事業は、都市計画の母」といわれています。それは、私たちの生活になくてはならない道路、公園、排水施設、宅地……を整備するなど、快適で住みよいまちとなるための基盤整備をするからです。

市は、昭和46年以来、本市の新しい中心部となる依田原新田土地区画整理事業を進めてきましたが、3月29日をもって、換地処分公告をし、完了しました。

同事業は、約90ヘクタールの広い土地に14年の歳月と67億1,600万円の費用を投じ、完了したもので、県東部地区の中核都市にふさわしい街区に生まれ変わりました。

着工当時は水田地帯

「岳南広域都市計画事業依田原新田土地区画整理事業」は旧富士市と旧吉原市の市街地を結ぶ中間地、約90ヘクタールの土地を対象に、昭和46年事業に着手しました。

着手当時、この地区は合併に伴って建設された市庁舎のほかは、道路も狭く、未整備で一部住宅と工場が点在する水田地帯でした。

県東部地区の中核都市を目指す本市は、交通体系の確立、都市機能の集積した近代都市づくりを進めていました。

特に、2市1町の合併により新市の中心部となる市庁舎周辺は、都市化の影響を最も強く受けることが予想され、都市環境の整備が急務とされました。

しかし、昭和40年代後半からの石油危機等による経済のマイナス成長や長引く不況に悩まされ、本事業も少なからず影響を受けました。

市の中心地に一変

着手当時、大部分が水田だった区域は、市内の交通のかなめとなる臨港富士線と田子浦臨港線が交差し、公共機関を初めとする各事業所が密集した中心地に一変しました。

市は、現在も隣地の富士中部地区や富士駅周辺で再開発型の区画整理事業を行っています。快適で住みよいまちづくりのためには、区画整理事業はどうしても必要です。

市は、今後も快適なまちづくりのため、都市環境の整備を進めていきます。

△着工当時の市庁舎周辺

芸術文化の発展に貢献

4氏1団体を表彰

教育文化奨励賞

市教育委員会は、「昭和60年度富士市教育文化奨励賞」を音楽教育の振興に貢献した植村さんら4氏1団体に贈りました。この賞は、本市の教育振興及び芸術文化の向上に尽くした市民などに贈るものです。表彰式は、5月3日、富士商工会議所で行われました。

音楽教育の振興に貢献

植村壽男さん
(54歳　本市場新田)

昭和27年、市立富士中学校に奉職以来、33年間、専門の音楽教育を通して市内の中学校生徒の豊かな情操を育てる。

昭和48年以降は、吹奏楽部門の指導に卓越した力を発揮。

県東部大会金賞7回、県大会最優秀賞2回、東海地区大会金賞3回など数々の栄誉を受け、学校教育における音楽教育の発展に寄与する。

絵画の創作活動に活躍

野沢秀典さん
(31歳　中島)

2歳の時、脳性麻痺と診断される。その後、養護学校、更生指導所で勉学と訓練に励み、家庭生活に入った後、日本表象美術協会員太田利三氏に師事し絵画に研鑽を積む。

昭和50年二科展初入選、昭和55年第7回日象展で厚生大臣賞、本年2月、日象展読売新聞社賞を受賞。絵画を通じて社会参加。その創作活動等は多くの市民に人生の尊さと勇気や希望を与えている。

ペン書道の普及と団体育成に貢献

三浦久代さん
(59歳　今泉)

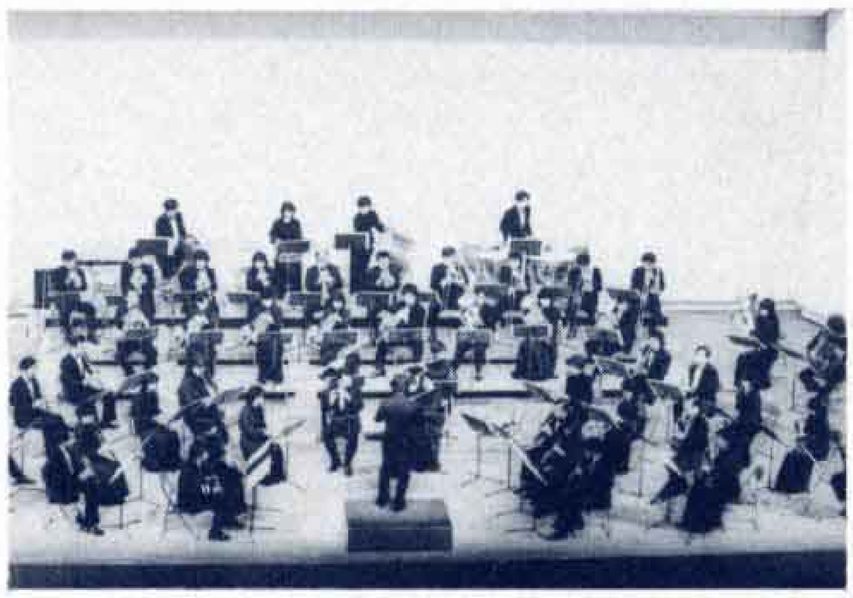
昭和38年以来15年間、吉原成人学校ペン習字科講師を務める一方、青年学級、婦人学級等の講師として、ペン書道の普及と指導者養成に当たり、本市のペン書道隆盛の基盤づくりに貢献。昭和40年ペン友副会長、同52年「書道研究するが会」会長、平仮名書法の探求で独自の風格ある書風を確立し多くの師範育成に努力。

日本舞踊・民踊の普及に尽力

若柳吉以智さん
(59歳　伝法)

5歳の時から日本舞踊師匠花川遊蝶に師事。昭和17年に名取りとなり以後、若柳吉以師匠の内弟子として稽古に励む。昭和18年「柳園会」を発足。同51年柳園会を改め「園寿会」として再発足。同時に会長に就任。古典的な優雅さに現代感覚を加えた日本舞踊や民踊を指導奨励するなど本市の民踊普及に貢献。

市民音楽活動の向上に寄与



富士交響吹奏楽団
(会長　小林忠さん)

結成13年目を迎える富士市民で構成する交響吹奏楽団。古典音楽を基調に交響曲から軽音楽まで個性豊かな演奏を広く市民に発表。昭和58年、170人の市民合唱団によるベートーヴェン第9「合唱」演奏会など、市民による芸術文化の振興に寄与。昭和59年度全日本吹奏楽コンクール東海大会で金賞。

市民が誇れる郷土の吹奏楽団として活躍が期待される。

今月のテーマ

お便りコーナー

青年と社会参加

未来を築く――それはいつの時代も青年の役割です。
家庭、地域社会、国際社会など青年を取り巻く社会はさまざまです。特に、今年は国際青年年でもあります。
そこで今月は、「青年と社会参加」というテーマでお便りをいただきました。

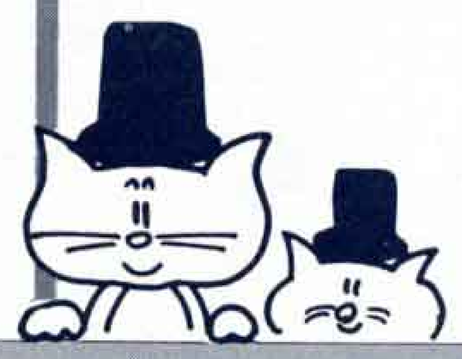
失いたくない情熱

畔柳まゆみさん
会社員　神谷(23歳)

私は、社会に対して常に問題意識を持つことが社会参加につながると思います。そういう意味で青年に限らず、大人ももう少し社会に目を向けて生きるべきではないでしょうか。

世の中が豊かになるにつれて、私たちの親が若いころにはできなかったような楽しいことが多くなりました。今はドライブやスポーツなど、何でもできます。あえて青年として社会にかかわらなくても、「自分だけ楽しければよい」という若者がふえています。ですから、青年の間に、人生のこと、仲間のことなどを真剣に話すことは格好悪いような風潮があるのは寂しい感じがします。(私って悩み多き乙女かしら？)

また、時代の流れもありますが、安定志向の人がふえる中で、若者はその若さゆえの情熱や、がむしゃらさがなくなってしまったように感じます。若者よがんばりましょう。



あなたのお便りを お寄せください

このコーナーは、皆さんの意見交換の場とさせていただきます。テーマに基づいた、あなたの意見や提言などをどしどしお寄せください。
お便りをお待ちしています。

◇**応募される人は**　原稿用紙へ300字程度にお書きください。趣旨を変えないで原稿を直すことがあります。住所・氏名・年齢・連絡先を忘れずにお書きください。

◇**送り先は**　〒417 市内永田町1丁目100番地　市役所広報広聴課
原稿締切日は、毎月20日です。

テーマ

■6月は「暮らしの中のマナー」

近隣騒音、ゴミの投げ捨て、公共物の破壊など、最近暮らしの中のマナー低下が目立つようです。

ちょっとした他人への気遣いで気持ちよい生活が送れるのではないでしょうか。

殺伐(さつばつ)とした現代社会では他人への思いやりがより重要さを増してきます。暮らしの中のマナーについてあなたの考えをお寄せください。

■7月は「リサイクルを考える」

最近、リサイクルという言葉が叫ばれ始めています。物の豊富な現代社会で簡単に物を捨ててしまう習慣がついてしまった私たち。

知らず知らずのうちに、再利用する（リサイクル）ということを忘れかけているようです。リサイクルは省エネ対策にも通じます。

7月は「リサイクルを考える」というお便りをお待ちしています。

青年団が青春でした

高村　清美さん
主婦　富士見台(30歳)

結婚する以前住んでいた今泉で、私は青年団に2年ほど所属したことがあります。今から考えると、青春が一番花開いた時期であったように思います。

いろいろな世代の人たちと話をしたり、網引きやキャンプなどさまざまな行事を通して、私は男女の別なく親しさを増すことができました。

また、ある町内で歩行者天国をしたり、地区文化祭では太鼓を披露するなど、多くの地域の人たちと接することができました。

そして、地区の行事に「今泉青年団」と名が入っただけで、自分が何か大きなことをしたような喜びを感じました。

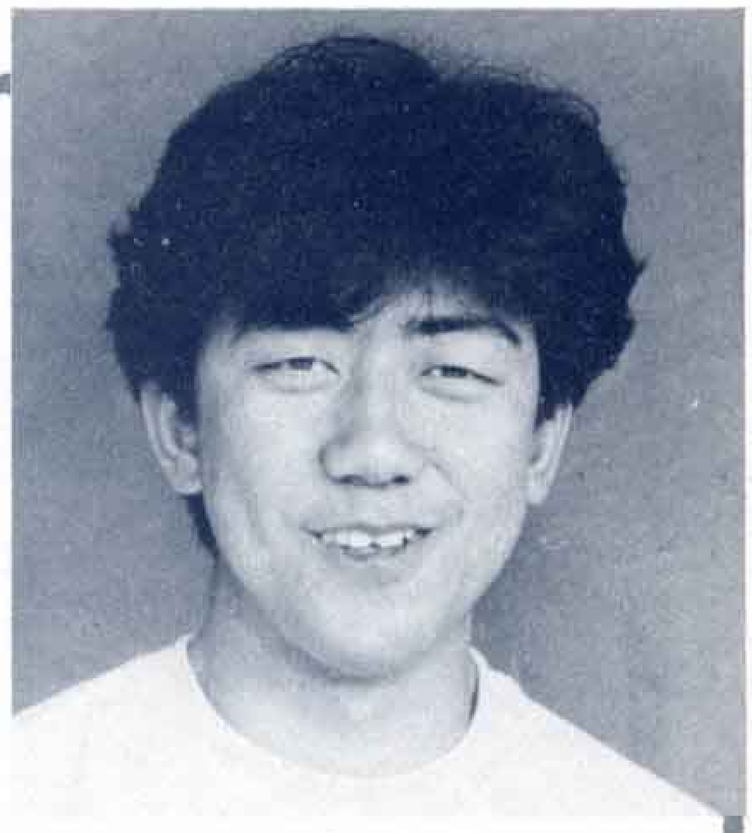
現在、青年団活動は衰退しているようですが、青年一人ひとりが社会参加することによって、その力を発揮してほしいと思います。

若者はもっと社会へ

秋山　春樹さん
農機具販売　中野(21歳)

田舎臭く、現代風に言えばナウくないイメージを持っていた青年団(大渕青春友の会といいます)に入って3年目を迎えました。その間、地区の社会教育推進会と協力して体育祭やマラソン大会等の行事に参加したり、カーブミラーの清掃奉仕を通して、自分の価値観が変わってきたと思います。

昔と違って世の中が豊かになるにつれて価値観が多様化し、若者が飛びつきたくなるようなことが実にたくさんあります。



△大渕青春友の会の秋山さん

元暴走族の仲間がいます。彼は毎日オートバイをぶっ飛ばし、青春のエネルギーを燃やしていたわけですが、何かむなしさを感じるようになり青年団に入ってきました。今は、彼も地域の多くの人と接し、社会活動の楽しさを共に感じています。

今年は、国際青年年ですが、若者はもっと社会に飛び出して、社会の中の自分という存在を確認してみる必要があると思います。

交通安全協会富士支部の初代婦人部長

加藤秋子さん（かとうあきこ）

中　里(55歳)

ここ数年来、女性ドライバーの増加に伴ない女性の関係した事故が目立っています。女性自身に交通安全に対する関心と責任を持たせ、家庭内を核とした交通安全指導を進めようと、安協富士支部内にこのほど婦人部が発足。その初代部長に就任した加藤さん。

須津地区の婦人会々長として交通安全に積極的に協力。

須津婦人会は、秋の交通安全運動で毎年、手製のマスコットをドライバーに配布。「こんな活動が目についたのか須津の婦人会は熱心だとおだてられ、引き受けてしまいました。」と苦笑する加藤さん。「まだ発足したばかりで何の抱負もありません。」と言いながらも「家庭内で交通安全に対する話題を提供し、特に子供、お年寄りの指導者としての役割は、女性が果たさなければ」と早くも婦人部長として意欲を示す。

ご主人と長男夫婦、それにお孫さん二人の六人家族。

△観客に見守もられ一斉にスタート

潮風を浴び気分も爽快

——第十二回田子浦マラソン——

「健康のためにみんなで楽しんで走ろう」と健康づくりをねらいとした第十二回田子浦マラソン大会が、四月十四日(日)、柏原海岸マラソンコースで行われました。

全国各地から集まった千二百人余の参加者は、駿河湾の潮風をいっぱいに浴びながら各自マイペースで走り、健康マラソンを楽しみました。

◁真剣な、まなざしで応援

◁役員さんも一休み

力走

快走

マイペース

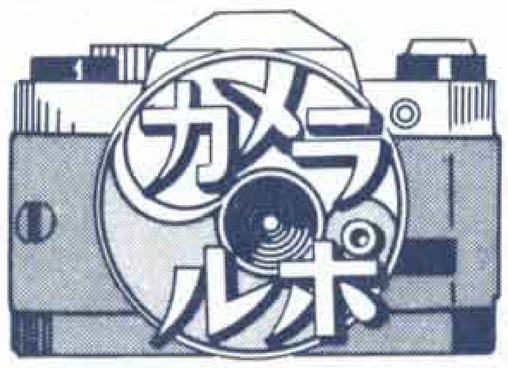
◁ゴールのあとは家族そろって浜辺で食事

緑あふれるまちに

第27回緑と花の百科展

家庭緑化の推進をはかりながら、緑いっぱいのまちづくりを進めようと、「第27回緑と花の百科展」が、4月14日(日)市庁舎北側駐車場で開かれました。

会場では、庭木や草花の即売とともに、緑の相談コーナー、菊づくり講演、庭木の剪定実技なども開設されました。春の日差しを受けながら約1万人の市民は、思い思いのショッピングを楽しんでいました。



▷庭木の剪定実技コーナー

△サァー、いらっしゃい、どんなものがよろしいですか

▷どれにしようかな……

▷この鉢物は買い得くだよ

暮らしのたより

市県民税などの税率が改正されました

昭和60年度個人の市県民税の均等割と軽自動車税の税率が、改正されました。市県民税の均等割は次の通りです。

区　分	改正後	改正前
市民税	2,000円	1,500円
県民税	700円	500円
合　計	2,700円	2,000円

軽自動車等のうち、俗称ミニカーについては、2月15日以後に取得したものに対する税率が、1台につき2,500円となります。

◇問い合わせ　市　税務室　内線278

光化学オキシダントに注意

これから夏場にかけて、光化学オキシダントが多く発生します。光化学オキシダントは、人間の目やのどを刺激し、農作物などにも大きな被害を与えます。

市は、光化学オキシダントが高濃度となり、注意報、警報等が県から発令された場合、広報無線放送を通じて市民の皆さんにお知らせしますので、次のことに注意してください。

一般的な予防

・目やのどに刺激を感じたときは、洗眼、うがいなどをしてください。
・屋外での活動は控え、特に学校、幼稚園、保育園等では状況に応じて屋外活動を中止してください。
・自家用車等の運転は自しゅくし、公共交通機関(電車・バス等)を利用してください。
・動物や農作物に異常を認めた場合は、市林政課、農政課及びみどりの課へ連絡してください。

被害が発生した場合

・人の健康にかかわる被害届があったとき、市健康課及び富士保健所は、被害者に保健指導を行います。

また、被害の症状によっては消防署への連絡をとりながら医療機関での診療を行います。

下水道使用料を改定

市は、下水道使用料を5月使用分(4/21～5/20)から改定します。下水道使用料は、昭和54年に単価改定を行ったまま据え置かれてきましたが、西部浄化センターの稼働に伴う維持管理費の増大、電力料金をはじめとする諸物価の高騰等により改定となりました。

項目	区分(排除汚水量)	改定額	現行額
基本料金	10立方㍍以下	500円	300円
従量料金(1㎥につき排除汚水量)	10立方㍍を超え50立方㍍までの分	50円	30円
	50立方㍍を超え100立方㍍までの分	60円	35円
	100立方㍍を超える分	70円	40円

◇問い合わせ先　市下水道課内線570

「自然」の写真を募集

市みどりの課は、「わたしの自然」写真展を行いますが、その作品を募集します。対象は小中学生で、応募者全員に参加賞を贈ります。

応募要領

◇題　材　富士市域の自然のうち、あなたが見つけた「自然」
◇写真サイズ
　カラープリント　六ツ切大
◇応募資格
　市内の小、中学校の児童、生徒
◇応募方法　作品を各公民館及びみどりの課にある申込書と一緒に、市みどりの課へ提出してください。(作品はお返ししません)
◇募集期間　10月1日～11月30日
◇申し込み、問い合わせ先
　市みどりの課　内線332

まちを美しくしよう

富士市をきれいにする運動推進連絡協議会と各自治会は、5月19日(日)8時から9時30分まで「昭和60年度第1回市民美化運動」を行います。

※小雨決行、中止の場合5月26日(日)

◇実施内容
・公共施設へ苗木の植栽
・道路、公園の美化清掃
・河川、側溝等の美化清掃
◇問い合わせ先
　市みどりの課　内線333

犯罪の通報は積極的に

あっと思ったら　☎52－2543へ

犯罪は人目に触れずに行われるだけでなく、また犯罪者は世間から隔絶して生活しているわけでもありません。犯罪者の周囲には多くの市民の目と耳があり、犯行や犯罪者の姿をとらえることが多いものです。警察では皆さんからの積極的な通報をお待ちしています。

市政モニターを委嘱

4月19日、昭和60年度の市政モニターを次の25人に委嘱しました。

長浜実（岩本）大内長利（大渕）沢田佐美子（宮下）川村真澄(久沢)鈴木長作（松岡）松本玲子（今泉）杉山淑子（鈴川）藤本洋子(久沢)里和昭子（入山瀬）秋山浩樹（今宮）秋山春樹（中野）渡辺百合子(今泉）大橋嘉則（伝法）三井清治（川成島）武井みどり（本市場）村松栄子（久沢）望月律子（岩本）荻野恭子（原田）紫田実枝子(平垣町)町田しげ子（中央町）小林カナエ（中島）久能泰弘（柚木）吉村君代（吉原）砂川理恵子（宮下）渡辺房江（伝法）

暮らしのたより

私道の舗装側溝工事に補助金

公道として認定するのが困難な私道であっても、道路の幅・長さ等が要件を備え、工事の施行基準に合っていれば補助金の対象となります。

◇交付額　標準工事費の２分１以内
◇受付期間
　５月15日(水)～12月28日(土)まで
◇申し込み、問い合わせ先
　市建設部管理課　内線343・345

中小企業経営大学を開きます

県は、中小企業の若手経営者等を対象に中小企業経営大学を開催します。

◇受講対象　中小企業の若手経営者及び経営後継者で、おおむね40歳以下の人。
◇受講定員　60人（商業コース・工業コース各30人）
◇研修方法　月１回の研修（２泊３日）を８回実施。
◇申し込み期限　５月31日(金)まで
◇申し込み先　商工会議所、商工会
◇問い合わせ先　県労働部後継者養成課　☎0542－21－2828・2813

家内労働旬間です

労働省は、５月21日から31日までを「家内労働旬間」と定め、家内労働者の労働条件の向上をはかります。

委託者のみなさんは、仕事を依頼する時に家内労働手帳を交付して、委託条件を明確にしましょう。

◇問い合わせ先
　富士労働基準監督署　☎51－2255

工業統計調査のポスターを募集

通商産業省は、工業統計調査のポスターを広く一般から募集します。

◇募集期間　５月10日～６月30日
　（当日消印有効）
◇規　格
・縦59センチメートル、横42センチメートル（日本工業規格Ａ２版）で縦長に使用する。
◦色は４色以内（白色は除く）
◦図案には「通商産業省」「工業統計調査」「昭和60年12月31日」を必ず入れる
◦写真は使用しない
◦ポスターの裏面に「住所、氏名、職業（学生は学校名学年）」を明記する。
◇応募先　県総務部統計課商工係（☎0542－21－2240）または通産大臣官房調査統計部工業統計課（☎03－501－1511 内線2393）
◇問い合わせ先　市広報広聴課内線527

ふれあい教養セミナーを開きます

東海大学社会教育センターは、ふれあい教養セミナーを開催します。

◇と　き　５月25日(土)　14:00～
◇ところ　静岡県総合社会福祉会館
◇講　師　羽仁 進氏、羽仁未央氏
◇定　員　350人
◇受講料　無料ですが、受講券必要
◇申し込み先 電話かはがきで〒424清水市三保2389東海大学社会教育センター「ふれあい教養セミナー」事務局へ。☎0543－34－2385

「家庭緑化の手引」を無料配付

(財)富士市施設利用振興公社は、「家庭緑化の手引」を無料配布します。（部数に限りがあります）

◇配布場所　各地区公民館・市総合案内・市民会館・文化センター・勤労者体育センター

いっせい防疫

月　日	午　前	午　後
５月20日(月)	川原宿 蓼原町３ 塔の木	蓼原町１ 蓼原町２ 藤　間 十兵衛北
21日(火)	本市場３ 本市場４ 五味島	本市場１ 本市場２ 国　久
22日(水)	浅間町 中島新道町	本市場新田 松　本
23日(木)	富士中島上 富士中島下	柚　木
24日(金)	銀座町 富士本町 富士町	平垣八幡町 平垣北町
25日(土)	平垣町 平垣２ 平垣３	水戸島上 水戸島中
27日(月)	下横割南	上横割 十兵衛南
28日(火)	下横割北 大昭和社宅(一部)	水戸島下 水戸島南町

5月の休日当直医

休日及び平日夜間の当直医は、急病患者のために定めたものです。

急病のときだけご利用ください。

◇５月５日(日)

外　科	宮下医院	61－0376	平　垣
〃	鈴木整形	52－2213	宇東川
産婦人科	柵山産婦人科	71－4771	厚　原
柔道整復	丸山接骨院	61－4720	森　島

◇５月６日(月)

外　科	藤井整形	61－7811	松　岡
〃	芦川病院	52－2480	中央２
産婦人科	武田産婦人科	63－5122	宮　島
柔道整復	田辺接骨院	61－5490	柚　木

◇５月12日(日)

外　科	神谷外科	61－5900	川成島
〃	米山病院	52－3060	吉原４
産婦人科	長野産婦人科	61－1907	柚　木
柔道整復	中村接骨院	61－1073	横　割

◇５月19日(日)

外　科	渡辺整形クリニック	61－0655	川成島
〃	寺元医院	53－2367	浅間本
産婦人科	遠藤産婦人科	52－1941	吉原３
柔道整復	朝岡接骨院	52－2876	今　泉

◇５月26日(日)

外　科	川村病院	61－4050	中　島
〃	渡辺病院	51－3751	錦　町
産婦人科	北西産婦人科	61－0119	本市場
柔道整復	平田接骨院	63－2200	上横割

※内科・小児科は、医療センター　☎52－3104で、歯科は歯科医師会館　☎53－5555で行います。

平日夜間及び休日当直医の問い合わせは☎52－1181

ふるさとの昔話

下横割の お茶ばあさん

◁お茶ばあさんの墓

下横割の福寿院に「お茶ばあさん」を祭ったお墓があります。

「お茶ばあさん」は、観音菩薩の化身だといわれ、せきに悩む人々が、お茶を供えてお祈りすると、たちまちのうちにせきが治るといわれています。

菩薩の化身のおばあさん

今から350年ほど昔のことでした。上横割の成安寺の逸道禅師というお坊さんは、ぜんそくが持病で隠居し、福寿院に住んでいました。ある日、せきに悩むおばあさんがやってきて、「おこもりしてお祈りしたい」と禅師にお願いしました。

老婆は、本堂にこもり、ご本尊に茶をささげ、一心に祈り続けると、間もなく禅師のぜんそくも、老婆のせきも全快しました。その晩、老婆はどこともなく消えてしまい、禅師は、きっと観音菩薩の化身であろうと思い、供養を怠りませんでした。

禅師が亡くなって100年あまり過ぎたころです。横割村の百姓長右衛門に一人の姉がありました。姉は、逸道禅師のぜんそくを治した老婆の化身で、病気により、福寿院の住職の枕もとに現れて死んでしまいました。ねんごろに葬ると、どこからともなく「我は世の人々のせきの病いを救おうぞ」という声が聞こえました。

市外からもお参り

大石さん

福寿院の近くに住む、大石幸一さん(68歳)は、「今でも市内はもとより、清水・三島などからもお参りに来るよ。お礼参りに来る人も多く、霊験あらたかだよ。8月7日が祭典だけど、地元の人が案外知らないね。」と語ってくれました。

地名の由来

中　里

この村は、三方を、西に赤渕川、東に須津川、南を浮島沼に囲まれた中の平地という意味で、中の里つまり中里と呼ばれたのでしょう。

一説では須津庄の村々の中で、ほぼ中央にあるので中里村としたともいいます。根方街道沿いの村の中では最も大きい村落で、天念寺、大坪、長沢、久保、新屋敷、宮組の六つの部落に分かれています。

古墳のはなし ⑯

古墳と祖先の生活

△市内で一番大きい浅間古墳

市内で一番古い古墳 一番大きな古墳は？

市内で一番古い古墳は、比奈の県立吉原工業高校の敷地内にあった「東坂古墳」です。

東坂古墳は、4世紀の終わりごろから5世紀の初めごろ(1,600年前)のものです。

また、市内で一番大きな古墳は、増川の「浅間古墳」です。

この古墳は、前方後方墳で、全長98㍍、幅60㍍ほどあり、県東部地方でも最大の古墳です。

古墳は、私たちの祖先がどのような生活をしていたかを知る上で、大切な文化遺産の一つです。祖先が残した大切な文化遺産をみんなで守っていきましょう。

※16回にわたって掲載した「古墳のはなし」も今回をもちまして終わらせていただきます。

次回から、新たな企画で登場しますのでよろしく……。

こちら編集室

ゴールデンウィークはどんな過ごし方をしましたか？連休の過ごし方は人それぞれでしょうが、5月は自然に親しむにはもってこいの季節です。大いに自然に親しみましょう。

発　行・富士市役所　富士市永田町1丁目100番地☎51－0123　人　口　215,265人　男　107,006人　女　108,259人
編　集・総務部広報広聴課　世帯数　60,931世帯　(4月1日現在)